

湖西市

地形概況

浜名湖西岸の湖岸低地・湖西丘陵・新所原台地・湖西山地・笠子川や入出太田川の三角州低地などからなる。湖岸の埋め立て、入出の干拓、丘陵の人工平坦地化も進行した。遠州灘に面する汐見坂には海食崖が発達し、砂丘・堤間湿地もみられる。

地質概況

南部の湖西丘陵は高位段丘礫層・新所原台地・中位段丘礫層からなり、表層は赤褐色化が進んでいる。基盤は渥美累層で海成層の泥層・砂層からなる。湖西山地は秩父帯に属し、黒色片岩・砂岩で構成される。湖岸は泥砂礫互層の沖積地である。

気象概況

年平均気温は推定 15.7℃と県内でも高く、特に冬は暖かく真冬日がほとんどない。平均気温の年較差は 18～20℃日較差も 7℃内外と小さい。年平均降水量は 1,864mm(吉見)と県平均より約 20%も少なく、春から夏にかけて雨が多い。

災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日 (昭和 19 年) 東南海地震 M=7.9
県中・西部の被害が大きかった。当地でも、鷺津駅西方 1,500m 地点から約 2km の東海道線の築堤(高さ 4.5～20m)に大沈下を起こした。2km 区間の数箇所が陥没し、北側へ土が 40～50m、最大 100m 流れ出た。その他潤井に噴水田に砂水を噴出するなど、地盤の液状化が目立った。震度は入出で 6～7、鷺津・白須賀で 6、新所・知波田で 5～6 である。
- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震 M=8.4
全県下で被害があった。当地の白須賀二川では人家被害なし、ということである。各地の震度は入出で 6～7、利木・白須賀で 5 と考えられる。
- 1707 年 10 月 28 日 (宝永 4 年) 宝永地震 M=8.4
全県下で被害があった。白須賀町では町並が残らず潰れ道路は亀裂を生じ、馬の通行ができなくなった。また塩見坂も崩れた。震度は白須賀で 6～7 である。
- 1498 年 9 月 20 日 (明応 7 年) 明応地震 M=8.2～8.4
古い時代のことであるが、震度は白須賀で 5～6 であったと推定されている。

災害事例 津波

- 1944 年 12 月 7 日 (昭和 19 年) 東南海地震津波
三重県沿岸で被害が大きかったが、静岡県沿岸は比較的軽微で、当地でも津波の高さは 1～2m であった。
- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震津波
全県沿岸で被害を生じた。本白須賀は津波があったが人家は無難で死者もなかったといわれる。白須賀の海岸では 6m 程度の津波があったと思われる。
- 1707 年 10 月 28 日 (宝永 4 年) 宝永地震津波

全県沿岸で被害を生じた。白須賀町では漬家のうち過半が流失した。また漁船漁道具等までも残らず流失した。白須賀の海岸での津波の高さは5～6mであった。

- 1498年9月20日（明応7年）明応地震津波
白須賀宿はこの津波で流失した。現在の元町は津波で移転する前に集落のあった所である。津波の高さは5～6mであった。

災害事例 高潮

- 1979年10月19日（昭和54年）台風20号
浜名湖に高潮起り、床上浸水2戸、床下浸水3戸の被害を受けた。
- 1975年8月23日（昭和50年）台風6号
浜名湖に高潮が発生し被害があった。
- 1961年9月16日（昭和36年）第2室戸(13号)台風
浜名湖に高潮を生じ、床下浸水14戸の被害があった。
- 1959年9月26日（昭和34年）伊勢湾(15号)台風
浜名湖に高潮が起こり、浜名郡で全壊38戸、半壊129戸、床上浸水216戸、床下浸水697戸の被害を生じた。
- 1953年9月25日（昭和28年）台風13号
浜名湖に高潮が発生。知波田で床上浸水40戸、床下浸水8戸、入出では全壊3戸、半壊23戸、床上浸水300戸、新所では床上浸水120戸、床下浸水7戸、鷺津では床上浸水250戸、床下浸水40戸の被害を生じた。

災害事例 台風

- 1772年8月30日（安永元年）
近年めずらしい大暴風雨で、全壊40戸余、綿・稗・藁麦など農作物に被害を生じた。

災害事例 竜巻

- 1986年12月19日（昭和61年）
18日から19日にかけて通過した低気圧により、静岡市で12月の観測史上最高の30.4mの突風を記録した。湖西市では工場、集会場、民家など17戸の屋根や窓を壊した。

災害事例 旱魃

- 1771（明和8年）
旧暦4月より5月まで大旱魃で、田植に水がなく困ったことが記録に残されている。
- 1770（明和7年）
大旱魃で畑作は皆無となり、また米も半作あるいは皆無となった所もあったといわれる。